

ひたち

ぐらし

HITACHI

の

IBARAKI

ススメ

理想の
暮らしは、
自分で
つかむ。



理想の
暮らしは、

自分で

つかむ。



ひたち ぐらし

HITACHI
の
IBARAKI

ススメ



(CONTENTS)

- 04 ようこそ、日立の玄関へ
- 16 知りたい日立市
- 18 日立市の休日
- 20 日立のまちに関わる
体験プラン
- 22 日立市の子育て
Part① 出産く育児支援
- 24 日立市の子育て
Part② 学習支援
- 26 日立市の
移住・定住支援





大きな社会の変革が起きている今、新しい生活様式を模索する人が増えています。「ニュースタンダード」や「ニューノーマル」など、時代を象徴するようなキーワードを目にする機会もだんだんと増えてきました。

これからどう生きていくのか――。

ライフスタイルの変化に伴い、暮らす場所を変え、選ぼうとしている人も多いように感じます。住まいを変えることは人生において大きな決断。仕事、育児、教育、地域コミュニティ……と、さまざまな心配ごとがあることでしょう。

でも、少しでも気になっているなら、ここ日上市に来てみませんか。まず、なによりも「生きる上でのベーシックなポテンシャル」が高いまち。夏涼しく冬暖かく、空気がきれい。多くの場所から海が見え、昇る朝日は美しい。そして地場で獲れる魚や野菜がとてもおいしい。こんな場所、ほかにもあるようではなかなかありません。

さらに今、まちには若い世代を中心とした新しい気運も立ち込めています。まちで暮らす人たちの様子を通して、カラフルに彩られたつつある「日上市の今」を感じられるはずです。





日立市の玄関口であるJR日立駅。駅舎の向こうに見えるのは海の上につくられた国道。

新しい日立を感じに

ようこそ、日立の玄関へ

日立市で地域を盛り上げようと日々活動を続ける人たちにフォーカスし、多面的で奥深い、まちの魅力をひもといていきたいと思います。

ものづくりのまちとしてのイメージを持つ人も多い日立市。「世界のHITACHI」を筆頭に、関連する企業が遺してきた偉業の数々はまちの誇りでも、今の日立の実際は、そんな「ハードな産業」だけではありません。これからのまちの未来を考える、柔軟な若者の動きが生まれ、移住やテレワーク、ワーケーションに関するプロジェクトなど、新しい暮らしのあり方を模索する動きも多数進行しています。

コーヒーとカフェで

まちをひらいて。

新しい日立を感じるには、まずどこへ行けばいいか。たとえば日立駅から徒歩5分ほどのところにある『COFFEE



日立のさまざまな風景がデザインされたカップ。

STAND GENKAN by Tadaima Coffee』は、「まちの玄関のような、ランドマークとなるコーヒースタンドを目指したい」と話す店主・神定祐亮かみじょうりゅうさんが運



自分が幼少期
 過ごしていたころよりも、
 日立はカラフルで
 おもしろい印象に
 変わっています。
 (神定祐亮さん)

日立というまちの
 空気が好きで、
 住民として
 勝手に使命感にかられて
 活動しています。
 (和田昂憲さん)

シビックプライドを上げる店づくりを目指す二人は、ともに日立市出身。



右・左上／日立駅から約徒歩5分のところにある『Coffee Stand GENKAN by Tadaima Coffee』。左下／住宅街にある『Tadaima Coffee』。

1. COFFEE STAND GENKAN by Tadaima Coffee

日立市弁天町1丁目9-1-102 皆川ビル
 tel.0294-85-7715

2. Tadaima Coffee

日立市若葉町1丁目13-5
 tel.0294-85-7715

営するカフェで、オープンは2020年6月。もともと、2016年にオーナーの和田昂憲たのりさんが、近隣で『Tadaima Coffee』という焙煎専門のコーヒーラボを開業したのが始まりで、こちらはその2店舗目。『ただいま！』と言いたくなるような場所をつくりたかったんです」と話す和田さんは日立市にリターンするカタチで店をオープン。人口減少の進む同市を憂えるとともに、日立市のポテンシャルに可能性を感じ、行動を起こしたといえます。

さまざまな人が集い、情報が行きかうカフェはまちの入り口。さらに同店は、人と人、人とまちをつなげる接点のような場所であり、ウェルカムセクター的存在で、おいしいお店の情報はもちろん、SNSに載らないような、とっておきの求人や不動産の情報なんかもやりとりされているよう……。日立を訪れたらまずはコーヒーを片手に、和田さんと神定さんと言葉を交わし、まちの空気を肌で感じてみてはいかがでしょうか。

家族が毎日一緒。
ここでのんびり
暮らしています。
気持ち的にすごく
ゆとりがありますね。

(榎村智生さん)



1.

市北部の十王町にある「榎村ふぁーむ」にて。のどかな里山の風景が広がる。



右/『櫻村ふぁーむ』の櫻村智生さん。左上・下右/広大な『櫻村ふぁーむ』の園内では年間をととして約150種の野菜を栽培。下左/JR日立駅前にある『Sakura cafe』では、『櫻村ふぁーむ』の野菜を使った弁当を販売している。

新しく暮らしの拠点を移す時、そのまちの環境にはこだわりたいもの。

南北に細長い地形の日立市は、東側は太平洋に面し、眼前には見渡す限りの海。一方、西側は阿武隈山系に連なり、トレッキングや登山を楽しめる丘陵や、深い森も広がり、穏やかな雰囲気に包まれています。市北部の十王町には広大な田園風景が、西部にある中里地区にはリンゴをはじめとした果樹園が続いており、収穫体験やダブルワークで農的暮らしを楽しんでいる人も多いため。

気概ある生産者も多数いる、子育て環境としての価値。

日立市で40年以上、農薬や化学肥料を使わず、人にも環境にも優しい農業を手がけている『櫻村ふぁーむ』の2代目・櫻村智生さんは、「土にも人の身体にもいい有機農業こそ、時代に合った持続可能な農業のカタチ。お客さんも安心だし、かつおいしい。それに農業はやればやるほどおもしろさが出てきますね」と微笑む。最近では想いを同じくする仲間らとともに農業団体『リアグリ』を立ち上げ、予約制の野菜

ボックスの販売など、消費者との新しい関係も模索「ゆくゆくは体験イベントなども企画し、まちの魅力発信に尽力したい」と展望を語ってくれました。

そんな櫻村さんも、日立市の住環境のよさについて太鼓判を押します。「世間一般では工業のイメージが強いけど、海があり、おいしいお魚を買えるマーケットもたくさん。新鮮な野菜や果物も手に入るし、場所ごとにいろんな楽しみ方がある。そして、うちはちょうど子育て真っ最中ですが、やはり本当においしいものを食べさせたい。また、この通り自然の中で自由に育っています(笑)」。

家族で出かけることのできる場所も日立市には多数。市民に愛される『かみね公園』をはじめ、子育て世代にぴったりの環境が揃っています。

1. 櫻村ふぁーむ

日立市十王町伊師3270
tel.0294-39-5038



右／『うのしまヴィラ』オーナーの原田実能さん。左上・左下／館内にあるレストラン「海音」は地元の人にも人気。下右／海のすぐそばにある『うのしまヴィラ』。下中央／朝の海にはサーファーの姿も。下左／ウミウのイラストを使った『うのしまヴィラ』の看板。



日立市での「暮らし」を考える際に、まずは一度、ゆっくりと滞在してみるのもいいかもしれません。

日立市而言えば、眼前に広がる太平洋。かの水戸藩第2代藩主・徳川光圀公をして「日の立ち昇るところ領内」と絶賛させた、地元の人々が愛する朝日の美しさも、暮らしにリズムを与えてくれることでしょう。

海が目の前にあるという ぜいたくな土地。

そんな日立市の海をゆっくりと堪能するなら、太田尻海岸にある『うのしまヴィラ』へ。白砂のビーチを眼前に、地元の海山の新鮮な幸を用いた美食の数々を楽しめる人気の宿の一つであり、カフェタイムを楽しむこともできます。「唯一無二のこのロケーションの中で、「深・日常」を提供したいと思っています」とは、オーナーの原田実能さん。原田さんの話す「深・日常」とは「深い日常」のこと。海を前にすると、日ごろできなかった会話などができるようになるというのが原田さんの経験に基づく考えであり、そんな関係が日常に戻っても自然と続くようになってほ

こういう海の風景を見ながら
会話をしていると、
なんかこう、
インスピレーションが
湧いてきませんか？

(原田美能さん)



海面に映る陽の光も美しい、久慈浜海水浴場で撮影した朝日。

しいというのが、この場に込められた
メッセージです。

そんな原田さんは日立市を心から愛
する人物の一人であり、「いばらき観光
マイスターS級」認定者。地域の魅力
発信にも日々尽力しています。「日立
の山には包み込む優しさがあり、海に
は見ているだけで解放される力があり
ます。場所柄、海に誘う仕掛け、海辺
の暮らし方というものを、今後さらに
深めながら提案していきたいですね」。
原田さんをはじめとして観光や催事で、
地域を盛り上げようとする人が日立市
にはたくさんいるので、そんなまちの
人との会話から、ここで暮らすことを
想像させる、新たな魅力を感じ取るこ
ともできるはずです。

1. うのしまヴィラ

日立市東滑川町5丁目10-1
tel.0294-42-4404

新しい働き方や暮らし方を模索する
気運の高まりとともに、「会社から離れ
て仕事するカタチ」であるテレワーク
やリモートワークなどの言葉が一般的
になりつつあります。それに呼応する
かのように、日立市にも、会社でも自
宅でもない「サードプレイス」として
コワーキングスペースなどができ、
「場」に人が集まり始めています。

場によって人がつながり、
新しい関係が生まれる。

市内にある5つの駅の一つ、常陸多
賀駅から徒歩ですぐのところにある
『晴耕雨読』。ここは、1階はコミュニ

「こういう場所を
探していた」って
言ってくれる人が多く、
求められていたんだなど
実感しています。

(宮地綾希子さん)

ティスペースで、イベントなどの貸し出しのない日はなんと無料で開放。仕事をする主婦グループなどのほか、施設の噂は近隣の高校生たちの間でも口コミで広がり、学生の勉強スペースとしても人気を博しています。

ディレクターの宮地綾希子さんは、「空き家・空き店舗の活用は、これからの日本の課題。そこに建築士としてどう関わっていくか。場に人との接点を持たせることで、それを解決できるんじゃないかという思いが、この場所をつくるきっかけでした」と話してくれました。2階はシェアオフィスにもなっていて、利用率も高く、宮地さんによれば「利用者同士がここで自由につながり、関係を深めている姿を間近で見て、このまちでサードプレイスを求めている人が想像以上に多かったことを実感しています」とのこと。

『晴耕雨読』だけではなく、日立駅の近くには『HUB Square HITACHI』もできるなど、ものづくりのまちからこれからのソーシヤルな世界を創造する地域へ。日立市は今、新たな局面を迎えているようです。



2. 上・下／『Coffee Stand GENKAN by Tadaima Coffee』(p.5)の2階にある、『HUB Square HITACHI』。

1. 上／1階は貸し切りで使われることも。中／1階で提供している無料ドリンク。下／2階はコワーキングスペース。

2. HUB Square HITACHI

日立市弁天町1丁目9-1 2F
trihubhitachi@gmail.com

1. 晴耕雨読—日立マイクロシェアオフィス—

日立市多賀町1丁目12-24 鈴木第三ビル
tel.0294-51-5425



移住となると
仕事の部分は大きな問題。
雇用を生み出せる
産業を確立したいと
思っています。

(與澤友貴子さん)



右・左/與澤友貴子さん。旦那さんと切り盛りする『源ちゃん農園』にて。果樹栽培・販売の振興、農家民泊の協議会の運営なども担う。

1.

昨今、「テレワーク移住」という言葉がメディアに登場する機会が多くなるなど、これからの暮らし方、場所を模索する動きが活発になっているように思います。では、日本全国に魅力的なまちがある中、移住者の視点で見た日立市の価値はどこにあるのでしょうか。都心との適度な距離感と、豊かな自然環境がある。

実際に日立市に移住したうちの一人、與澤友貴よさわさんに話を聞きました。與澤さんは2015年から3年間の任期で日立市地域おこし協力隊として勤務。日立市西部の山間にある中里地区で地域振興に係る業務を担当。任期満了後はこれからさらに日立にどう関わっていくかと模索していた中で出会った同地区のりんご農家に嫁ぎ、現在は日立市の非常勤職員として、週末はりんご農園の仕事を手伝っています。

「ここに来る前に、新田次郎の『ある町の高い煙突』を読んでいて、企業城下町としてのアイデンティティが随所に残るまちなんだなって感想を持っていました。住み始めてからは、海も山もあって、『まあ、なんて豊か!』とい



右／『御岩神社』の御神木である三本杉。左上・左下／常陸国最古の霊山とされる御岩山の麓に社殿はある。境内には森閑とした風情が漂う。

2.

1. 源ちゃん農園

日立市下深萩町177
tel.0294-59-0612

2. 御岩神社

日立市入四間町752
tel.0294-21-8445

う印象。東京までも近く、さまざまなインフラも整っていて、バランスのよい地域だと実感しています」。もともと地域振興に興味があったという與澤さんにとって、都心との適度な距離感、豊かな自然環境を持つ日立市はまさに「移住適地」と言えるでしょう。

日立市には、前述したように、朝日がきれいな海をはじめ、新鮮な海山の幸、子育て世代にも優しい環境など、さまざまな魅力があります。常陸国最古の霊山とされる御岩山おいわさんの麓には、わざわざ遠方から訪れる人も多いという唯一無二のパワースポット『御岩神社』おいわなどもあったり……。なにかが琴線に触れたら、一度、日立市を訪れてみてはいかがでしょうか。

生まれも育ちも日立。
このまちの「サブカル」を
復活させることが
活動の原点です。

(中村俊仁さん)

1. カフェ「cafe RUBAN」も
経営する中村俊仁さん。



中村さんが手がけているライブハウス。



新しい動きが始まりつつあるという日立市。

1. cafe RUBAN

日立市多賀町1丁目15-1 谷川ビル 1F
tel.070-1474-1511

日立市には今、「ローカルで
なにかをしたい！」っていう
人たちのコミュニティの輪が
どんどん広がって
いく感じがしていますね。

(菅原広豊さん)



「茨城移住計画」代表・
菅原広豊さん。

2012年から続く野外チャリティーフェス『PLACE』の仕掛け人である中村俊仁^{とひと}さんは、日立市発ロックバンド『THE S.A.L.A.』のリーダーであり、まちを盛り上げる先駆者の一人。「東日本大震災で、実は日立市は大きな被害を受けました。人口減少も進みつつあったこのまちを、どうにかして復活させたかった」と話します。中村さんのように、まちの未来を考え、行動する人が多いのも、日立市の特徴と言えるかもしれません。

地域を盛り上げようとする 人と話題にあふれたまち。

たとえば近年では、未来を見据えたさまざまなプロジェクトやコミュニティが生まれています。民間主導型の教育プログラム『Hitchhogs』は、米国シリコンバレー派遣を中心とした約半年間の研修を通じ、起業家精神を持った次世代リーダーを育成するもの。

日立市を中心に、無農業や減農業などで農業を行う若手農家らが、勉強会などを通じて交流を広げるために結成した『リアグリ』なども始動しています。

都心と茨城をつなげる役割を担う『茨城移住計画』代表・菅原広豊^{ひろと}さんは、日立市で各種プロジェクトやコミュニティも企画・運営。そんな菅原さんは「日立市はこれからはもっとおもしろい！」と言い切ります。「地域の課題に対して、プレーヤーがまだまだ少ない。逆に自分次第で関われるチャンスを作り開ける。また、産業のまちである日立市には、全国から人が集い、暮らしているの、実は多様性に富んでいる。秋田出身の僕もすっと入っていきまし、受容力のあるエリアだなんて感じています」。

日立市には「関われる余白」がまだまだあるよう。暮らしを自らの手で選びたいという方、一緒に地域を楽しみたいという方、お待ちしております！

日立市民の憩いの場である「かみね公園」から。まちの向こうには雄大な太平洋が広がっている。

What's Hitachi?

知りたい

日立市



Ibaraki

日立市は茨城県の北東部、日本で最も広い関東平野の北端に位置するまちです。「日立」の名前は、水戸黄門として知られる水戸藩第2代藩主・徳川光圀が日立地方を訪れ、海から昇る朝日の美しさに「日の立ち昇るところ領内」と称えたという故事に由来すると言われています。その由来のとおり、まちのどこからでも絶景を見ることができます。

また、南部を流れる久慈川と北部を流れる十王川の清流、西に連なる阿武隈高地、東は起伏に富んだ海岸線から望める太平洋など、豊かな自然環境も自慢。夏は涼しく冬は暖かいという穏やかな気候にも恵まれ、四季折々の自然が楽しめます。清流から採水した水道水は硬度が低く日本人が好む軟水で、透明感のあるサラリとした味わいが特徴。

そして、その山と川の恵みは海に流れ込み、豊かな漁場を育てました。市のさかかに指定されているタコをはじめアンコウなど、季節ごとに味わえる豊富な海の幸が迎えてくれます。

(DATA)

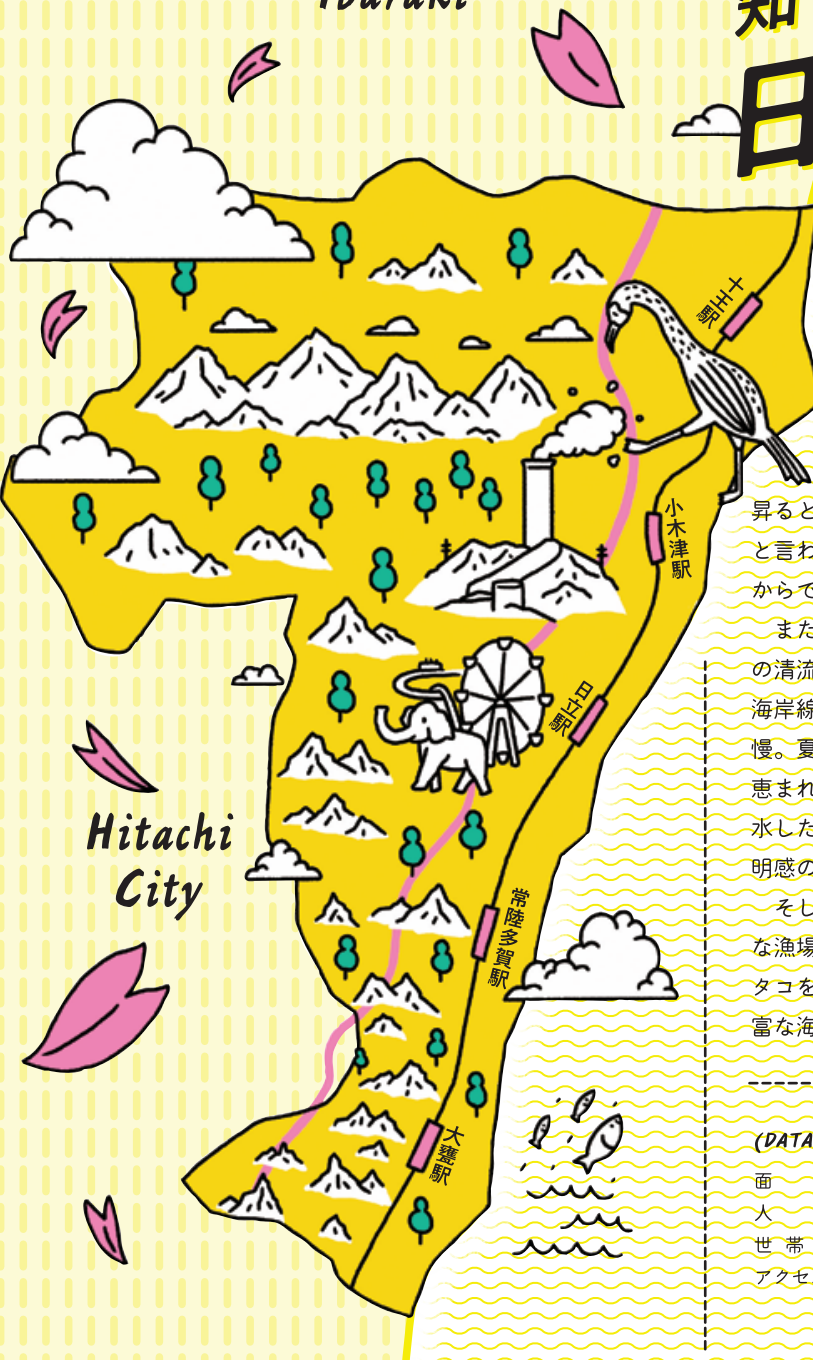
面積/225.86km²

人口/172,749人(県下第3位)※2021年6月1日現在

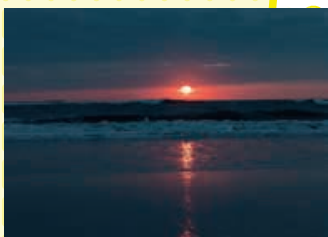
世帯数/77,706世帯 ※2021年6月1日現在

アクセス/東京駅から日立駅までJR常磐線特急で約1時間40分、常磐自動車道で約2時間30分。

東京駅から日立駅までの高速バスも運行中。



Hitachi City



／ ここが日立の自慢です ／

Cherry Blossom

まちを彩る 満開の桜並木



「日本さくら名所100選」の一つに選ばれている平和通り、かみね公園をはじめ、日立市には桜の名所が数多くある。「日立さくらまつり」など、さまざまなイベントも開催され、毎年大勢の花見客が訪れる。日立地域固有の桜が3品種あるので、それぞれの違いを見比べるのも楽しい。

Living with Nature

豊かな自然と 暮らしやすい気候



東側の太平洋と西側の阿武隈高地に挟まれているため、海と山の距離がとても近く、手軽に自然と触れ合えるのが大きな魅力。長い海岸線には6つの海水浴場があり、サーフィンスポットも多い。西側に連なる高鈴山、かみねさん神峰山などの山々（ひたちアルプス）には、県内外から多くの登山客たちが集まる。

Craft

歴史を支える 精巧なものづくり



日立市は明治時代に創業した『日立製作所』や『JX金属』などの歴史ある企業が生まれたまち。市内にはエネルギーや家電製品をはじめ、自動車、電子機器、宇宙・航空に至るまで、高度な基盤技術を持った350社近い企業が集まり、100年以上にわたって世界レベルでの「日本のものづくり」を支えてきた。

Support

思いやりあふれる 独自の支援制度

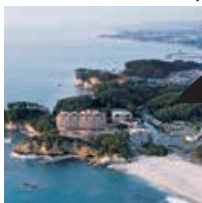


日立市には、移住や子育てを支援する制度が多くある。移住促進の一環としてテレワークへの助成などもあり、時代に合わせた制度をいち早く取り入れている。また大学が2校あるなど、教育面も充実。新小学1年生全員にランドセルを、新中学1年生全員にスクールカバンを無償で贈る制度は日立市ならではの。

全国でここだけです
ウミウ捕獲場

伊師浜海岸の鶴の岬は全国で唯一、鶴飼のためのウミウの捕獲が行われている。捕獲時期以外の1～3月と7～9月は捕獲場が一般公開され、ウミウの捕獲者からその生態や捕獲方法などを聞くこともできる。

日立市十王町伊師640 (伊師浜国民休養地内)
tel.0294-22-3111 (日立市観光物産課)
公開時間：9:30～14:00



Holiday

2



便利なショッピングセンターがオープン
シーマークスクエア
SEA MARK SQUARE

2020年3月、東滑川町にショッピングセンター『SEA MARK SQUARE』がオープンした。約30のテナントや映画館、ホームセンター、スーパーなどが入り、家族で楽しめる市内最大級のショッピングセンターだ。

日立市東滑川町5丁目地内
tel. 0294-32-5157
営業時間：10:00～20:00 (一部店舗で営業時間が異なる)



Holiday

3



高さ15メートル、圧巻の山車
日立風流物

市街地だけで約1万4000本ある桜。その桜が満開を迎える頃、「日立さくらまつり」の会場の平和通りには、ユネスコ無形文化遺産に登録されている「日立風流物」が現れる。高さ約15メートル、重さ約5トンの山車で、上部は5層造り。各層が中央から開いて舞台となり、からくり人形による演目が演じられる。

日立市平和町など
tel.0294-24-7978 (日立市観光物産協会)
日立さくらまつりは毎年4月上旬に開催

Holiday

4



Holiday

日立市の
休日



休みの日、自然が好きなら山や海へ。子どもと楽しめる遊園地や動物園、そしてプラネタリウムなど娯楽や文化施設も充実。新しいショッピングセンターもオープンしました。日立市では、ほっと息を抜ける、ほどよい休日が過ごせます。



透きとおった青い海と美しい砂浜

6つの海水浴場

長い海岸線には久慈浜海水浴場、水木海水浴場、河原子海水浴場、会瀬海水浴場、川尻海水浴場、伊師浜海水浴場と6つの海水浴場が点在する。水木、河原子、伊師浜は環境省選定の「快水浴場百選」にも選ばれている。日本有数のサーフィンスポットもあり、河原子海岸ではサーフィンの全国大会も開かれるほどだ。

Holiday

1

思い立ったら
すぐハイキング
**ひたち
アルプス**

神峰山、御岩山、高鈴山など、なだらかな山々が連なるのが日立市の特徴。家族でのハイキングや、森林浴などさまざまな楽しみ方ができる。親子でハイキングを楽しめる場所の一つは『助川山市民の森』。ネイチャートレイル（自然遊歩道）沿いには山野草や野鳥などの説明板もあって、山の自然を学べる。



生まれ変わった科学館「サクリエ」
日立シビックセンター

Holiday



文化や芸術をはじめ、さまざまな学びと体験の場を提供する『日立シビックセンター』。センター内にある科学館は、2021年4月に「サクリエ」として全面リニューアルオープン。日本最大級の科学体験ジャングルジム「ためしてハニカム」をはじめ、子どもから大人まで楽しみながら科学を学べる展示が盛りだくさん。センターの球体の中にある天球劇場の約1,500万個の星を映し出すプラネタリウムは世界最高峰のシステムを備えており、日立市の自慢の一つ。

日立市幸町1-21-1
tel.0294-24-7731（科学館）

遊園地に動物園、一日楽しめる
かみね公園

Holiday



自然の地形を活かした小高い丘の上にある『かみね公園』には、遊園地やレジャーランド、動物園が揃っている。頂上展望台からは太平洋やまち並みを一望でき、市民プールもある。一日中遊べる、とっておきのスポット。

日立市宮田町5-2-22
tel.0294-22-5586（かみね公園管理事務所）



日立駅 (SEA BIRDS CAFE)

全面ガラス張りの駅舎は、世界で最も美しい駅舎の一つとして高く評価されており、併設されたカフェからも太平洋が一望できる。海を眺めながら、ゆったりとした時間を過ごせる場所だ。

日立市幸町1-1-1 (カフェは駅直結)
tel.0294-26-0187 (SEA BIRDS CAFE)
年中無休

Plan

日常をなぞる



御岩神社

『常陸国風土記』にも登場する古社。江戸時代には水戸藩の国峰くにみねとして徳川光圀など代々の藩主が参拝する祈願所でもあった。近年はパワースポットとしても注目され、多くの参拝者が訪れる。

日立市入四間町752
tel.0294-21-8445

※詳細はHPで (www.oiwajinja.jp)

Plan

ルーツに触れる



奥日立きららの里

東京ドーム約10個分の敷地内に、全長1188mもある「わくわくスライダー」や、ふれあい牧場、ドッグランなどが点在。オートキャンプ場やケビン棟での宿泊も可能で、家族で思いっきりレジャーを楽しめる。

日立市入四間町863-1
tel.0294-24-2424

月曜定休 (春休み、GW、7~8月は無休)

Plan

家族で楽しむ



日立のまちに 関わる

体験 プラン

どんなまちかを知ったあとは、実際に日立市の日常やルーツ、空気に触れてみてください。ゆったり一人でまちを歩いたり、家族で思いっきり楽しんだり……。ここにしかない素敵な場所に触れることで、日立のよさを感じます。



(まずはひといき……)

Rays Coffee

こだわりの自家焙煎コーヒー豆をていねいにハンドドリップしたコーヒーを味わえるお店。移動の疲れも癒える、安らぎのひとつを過ごせる。自家焙煎コーヒー豆やドリッパーなどのコーヒー器具も購入できる。

日立市平和町1-1-3-102
tel.0294-89-9152 月曜・第3日曜定休



Sakura cafe

おしゃれでゆったりとした空気が流れる落ち着いた空間で、野菜たっぷりの日替わりランチや絶品スイーツを楽しめる。またライブなどの音楽イベントも開催しており、昼夜問わず楽しめる場所だ。

日立市幸町1-15-9 A・F日立ビル1F
tel.0294-87-6777 木曜定休



CAMEO COFFEE COMPANY

東京方面からJR常磐線で日立市に入ると、最初に停車する「大甕おおかみか駅」。そのすぐそばにあるおしゃれなカフェで、バリスタの入れる自家焙煎コーヒーや手作りスイーツなどが人気だ。

日立市大みか町2-24-5
tel.0294-51-1367 日曜・月曜定休





（泊まるなら！）

国民宿舎 鵜の岬

温泉からの美しい景色と季節の料理が自慢の宿。露天風呂からは太平洋を一望できるうえに、夕食は常陸牛や新鮮な魚介を使ったコース料理を堪能できる。周辺は国民休養地に指定されている。

日立市十王町伊師640
tel.0294-39-2202

※詳細はHPで (www.unomisaki.com)



（長期滞在なら！）

コクリエ

大学生、またはその大学生を応援したい社会人向けの「地域貢献型シェアハウス」。地域の企業と共同で商品開発をしたり、地域イベントへ積極的に参加するなど、まちとのつながりをつくるにはもってこい。

日立市大みか町3-1-12
tel.0294-87-6491

※詳細はHPで (<https://co-crea.jp>)

家でも
日立を体験！



『ある町の高い煙突』

『ある町の高い煙突』は、『八甲田山』『劔岳 点の記』などで知られる新田次郎の小説を原作とした映画で、2019年に公開された。明治時代に実際に起こった日立鉾山の煙害問題を題材に、その解決に向けて企業と地元の青年たちが奮闘する姿を描いている。日立市の背景や成り立ちをより深く知りたい方におすすめ。



湯楽の里 日立店

内湯に露天風呂、岩盤浴なども備えたスーパー銭湯。展望露天風呂からは太平洋が一望でき、満月の夜には月明かりによる幻想的な風景が目前に広がる。食事処や休憩所もあるのでゆったり過ごせる。

日立市河原町1-1-6
tel.0294-25-4126

年4回の休館日あり



日鉾記念館

日立市発展の原点でもある「日立鉾山」を礎とした、『JX金属』グループの歴史的資料を展示。日立鉾山の歴史や大煙突などを紹介した本館のほか、鉾山で使用した機材、鉾石などを展示した鉾山資料館がある。

日立市宮田町3585
tel.0294-21-8411

※詳細はHPで (www.nmm.jx-group.co.jp/museum)



十王物産センター 鵜喜鵜喜

安心、安全、新鮮が自慢の直売所。露地栽培を中心とした季節の野菜をはじめ、加工品、地酒、米、民芸品など、地元の幅広い商品を販売している。お土産を買いに来る人だけでなく地元民も集まる場所だ。

日立市十王町伊師528-1
tel.0294-39-3126

火曜定休



小木津不動滝

秘境のような自然に囲まれた、高さ12メートル、幅6メートルの滝。周囲に見える岩肌は約5億年前の地層でできており、日本最古の地層を見ることができる。

日立市小木津町内
tel.0294-22-3111 (日立市観光物産課)
※詳細はHPで (www.city.hitachi.lg.jp/kankou/008/p001091.html)



道の駅 日立おさかなセンター

日立市の新鮮な魚介が堪能できる道の駅。地魚などを購入できるだけでなく、海鮮浜焼きやその場で食材を選んで作る「味勝手丼」などの海鮮料理が味わえる。JAの直売所なども併設。

日立市みなと町5779-24
tel.0294-54-0833

※詳細はHPで (<https://hitachi-osakana-center.com>)



かみね動物園

『かみね公園』内の動物園。ゾウやキリンなど約100種540点の動物に出会い、動物との距離が近い展示が特徴だ。2020年12月には「ニホンザルのひろば」もオープン。日立市の鳥であるウミウの展示エリアも。

日立市宮田町5-2-22
tel.0294-22-5586 (かみね公園管理事務所)
12月31日、1月1日のみ休園

北関東最大級の屋内型遊び場

Hiタッチらんど・ハレニコ!

日立駅前にある北関東最大級の屋内型子どもの遊び場『Hiタッチらんど・ハレニコ!』。雨の日でも遊具いっぱいの場所で遊べて、親子連れの大人気スポット。体を思いっきり動かせるアクティブゾーン、ごっこ遊びがそろうロールプレイゾーン、いろいろな乗り物が楽しめるサーキットゾーン、赤ちゃん専用ベビーゾーンなどがある。

日立市幸町1-16-1

tel.0294-87-6040

1月1日～1月3日のみ休館



Childcare

日立市の子育て



Part 1

出産～育児支援

子育ては楽しく、夢があって、やりがいがあること。ただ、その間には不安なこと、助けが必要になることも多く出てきます。

日立市は子育てに寄り添い、総合的にサポートしていきます。

子育てを総合的にサポートする中心施設

日立市子どもセンター

子育て支援の中心となる施設が『日立市子どもセンター』。子どもたちが健やかに育ち、安心して子育てができるよう総合的にサポート。海が見える自然豊かな広い庭でのびのびと遊べる。保護者の心配事、悩みなどを相談員が受け付けている。

日立市西成沢町2-4-20

tel.0294-36-0048

年末年始休館



子育てを

まちといっしょに。

日立市で暮らし、子育てをされている方に
まの魅力を尋ねてみました。

みなさん、口を揃えて言われるのが「海と山の両方が身近にあり、子どもがのびのびと過ごせる環境があること。それに動物園もあれば、文化施設もある。まちと自然が近いことが魅力です」という話。まちの暮らしのすぐそばに、自然豊かな環境があることがうれしいようです。また、子育てに対する市のサポートが充実していることを魅力として挙げる方が多いのも特徴です。

「日曜日も開いている子どもセンターには、相談ができるスタッフの方がいて安心。子どもの成長をいっしょに見守って、喜んでくれます」子どもの成長を日立のまち全体で応援してくれる——そんな心強さを感じると言います。子育て支援センターなどで、親同士が知り合う機会も多いようです。

妊娠、出産からその後の保育まで、子どもの成長に合わせた支援制度がたくさん用意されている日立市。「子育ては楽しく、夢があって、やりがいがあること」。そんなあたり前の実現に、まちが寄り添います。

＼ 出産・育児をサポートする主な制度 ／

産前・産後 ママサポート



日中に家事や育児の支援が必要な妊産婦等（妊娠中～子どもが1歳未満）の自宅にヘルパーを派遣する制度。利用可能回数は1世帯あたり1日につき1回、産前・産後20回（多胎児の場合は40回）まで。無料で利用できる。

マタニティ子育て タクシー費用助成



安心して出産・子育てができるよう、タクシー料金の一部を助成。妊産婦、乳児（1歳未満）の保護者を対象に、妊産婦健診や出産、乳児健診、子どもの予防接種、母子の体調不良で市内の医療機関に通院する際に使用可能。

第2子以降の 保育料が無料



日立市は独自に国の制度を拡充し、保育園や認定こども園に通う0～2歳児についても、第2子以降の場合は保育料を無料としている（保育園・認定こども園の3～5歳児、幼稚園児などの保育料は国の制度により無料）。

小児医療福祉費 支給制度（マル福）



外来、入院ともに0歳から18歳の年度末まで医療費の助成を受けられる。市独自の制度として所得の制限は設けず、入院時の食事代も助成、2021年4月からは外来自己負担金も助成している。

子育て 支援センター



私立・公立の保育園、認定こども園のうち18か所に子育て支援センターを設置。また、子どもすくすくセンターや子どもの広場などもあり、子ども同士、保護者同士の出会いや交流の場、そして育児の相談場所として気軽にご利用を。

出産祝金の支給



お子さんの誕生を市全体でお祝いし、健やかに成長することを願って、お祝い金を第1子3万円、第2子5万円、第3子以降は10万円を贈っている（2021年4月1日以降に出生した子から、第1子及び第2子のお祝金を増額）。

予防接種らくらく スケジュール



子どもの予防接種をどのような間隔で、どの時期に接種したらいいのか、一人一人に合わせてメールでお知らせするアプリ。登録後無料で利用できる（通信費、パケット料金は別途かかる）。

ひたちすこやか 赤ちゃんクーポン券



市内の医療機関（日立総合病院）で出産された方に、赤ちゃんが1歳の誕生月の末日まで使える、おむつやおしりふき、ミルクの購入に使えるクーポン券（8万円分）を贈呈している。

ほかにも支援制度がいろいろあります。

詳しくは『ハッピー子育て～日立市子育て応援ハンドブック～』に。

QRコード先のサイトから、ハンドブックをPDFファイルで読むことができます。



45年続く、小学1年生への贈り物

小学校入学時の ランドセルプレゼント

日立市の小学1年生には全員、入学時に市からオリジナルランドセルが贈られる。1975年から続く伝統の贈り物だ。子どもたち全員が同じスタートラインに立てるようにという思いで、これまでのべ10万個以上を贈ってきた。過去に2回のモデルチェンジがあり、現在は3代目モデルのランドセル。扱いやすい軽さと6年間使える丈夫さが特徴だ。



2020年から始まった新たな制度

中学校入学時の スクールカバン プレゼント

日立市立の中学校に入学する1年生全員に、入学祝いとして大容量で丈夫なスクールカバンを贈っている。2020年からスタートした制度だ。両手が自由に使えるリュック型で、体操服なども入れられる。



日立市は
まち全体が
学びの場。

小学校の入学祝いとして、市から贈られるオリジナルのランドセル。そのランドセルを背負って始まる小学校では、特別な授業としてエキスパートから科学を学べる「理数教育支援」があったり、外国語指導助手による英語学習が小学1年生からカリキュラムとして生まれ、ネイティブの英語を身近に感じることが出来ます。そして、学びは学校の中だけでは終わりません。まちに出て、大人と出会い、体験をとoshite成長できる機会が日立市ではたくさん用意されています。たとえば林業や水産業、サービス業など、さまざまな仕事を体験して学ぶことができる「職業探検少年団」、茶道や書道、アートなどの文化活動を習う「文化少年団」、サッカーや野球などの「スポーツ少年団」などです。また、高校や大学などへの進学支援として、無利子の市奨学金貸付制度もあります。さらに、大学などを卒業した後、日立市に居住する場合は、その奨学金の返還補助が受けられます。社会に出るまでの学校での学び、まちでの学びをトータルでサポートするのが日立市です。

Childcare 日立市の子育て

Part 2

学習支援



日立市では、子どもとまちの関係も近いのです。小学校の入学のときには市がオリジナルのランドセルをプレゼント。「職業探検少年団」など、まちに出て、いろいろな職業の大人から社会を学ぶ機会も用意されています。



子どもたちの好奇心を育て、未来をサポート

ICTで確かな学力を育成

「児童生徒1人1台のタブレット端末」をはじめとするICT機器を2020年度中に整備。今後は、学校や家庭での活用をとおして、一人一人に応じた学びの実現を図り、未来を切り拓く力を育成する。



理数教育支援

(日立理科クラブとの連携)

100年のものづくりの歴史を引き継ぐひたちらしい教育として、日立製作所のOBらをメンバーとするNPO法人『日立理科クラブ』の「理数教育支援」がある。手作りの教材による実験などをおして身近にあるものの仕組みや現象を伝えるなど、子どもたちの好奇心を後押しする。



奨学金返還金の補助(最大全額)

日立市や茨城県、国の奨学金を利用して大学などを卒業後、市内に居住する場合、奨学金返還金の5割を補助。さらに医療・介護・福祉関係の国家資格を取得のうえ、市内で就業した場合も奨学金返還金の5割を補助(合計で最大全額)。未来を担う世代の学ぶ意欲と卒業後の生活を支える。

外国語指導助手(ALT)による指導

小・中学校全校に、外国の文化を背景に持つ外国語指導助手(ALT)を配置。小学校1年生からALTによる「英語に触れる、親しむ」授業を実施し、生きた英語によるコミュニケーション能力の向上につなげている。

学びの場はまちの中に!

ひたち大好き
パスポート



小・中学生が「ひたち大好きパスポート」を持参し、地域の行事や市内イベントに参加したり、市内公共施設などでの見学や体験をするとそれをポイント化。そのポイントに応じて「ひたち大好き博士」に認定する。土曜日と長期休業期間中の全日はパスポートの提示で市内の公共施設が無料で利用できる。

職業探検
少年団



地域の専門家やボランティアらの指導のもと、1年間の活動をおして「仕事」について探検(見る・聞く・体験)できる、全国でも珍しい日立市オリジナルの少年団。ものづくり、科学、メディア、林業、水産業など11の少年団が活動している。



放課後
子ども教室



放課後、子どもたちが安全に過ごし、さまざまな体験・活動ができるように、市内の全小学校への放課後教室の開設を進めている。学習や体験、地域住民との交流などを行っている。

スポーツ
少年団



子どもたちがスポーツを計画的、継続的に実践し、スポーツをおして「心とからだ」を育て、スポーツの喜びを体験する活動。サッカー、野球、空手道、ラグビー、ミニバスケットボールなど99のスポーツ少年団があり、県内では一番多い。

文化
少年団



子どもたち自身が、関心のある文化活動を自由に選択し、その文化に触れ、体験できる活動を展開している。茶道や書道、弦楽合奏、お箏、日本舞踊、和太鼓、発明、宇宙などさまざまな分野の27の少年団が活動している。

支援します。



これからの新しい働き方や、
テレワークにぴったり。

日立市への移住者に
移住助成金があります！



以下2つの助成の条件に当てはまる方には、合わせて

最大251万5千円を助成

Immigration & Settlement

日立市の 移住・定住 支援

地方移住への関心が高まっている今、新たなライフスタイルを模索している人が増えてきています。心地よい環境で仕事をしたい。日立市ではそんな方に向けて、日立市に移住し、新しい働き方、暮らし方を始める方の移住にかかる費用を助成し、移住・定住を支援しています。

詳細は、「移住ポータルサイト」をご覧ください。



ひたちテレワーク移住 促進助成金

Case1 / 住宅取得等をする場合

最大151万5千円

2020年10月1日以降に住宅取得に関する契約を締結した方で、要綱が定める期間内に建物の所有権保存登記が完了する方

Case2 / アパート等を賃借する場合

最大101万5千円

2020年10月1日以降に戸建住宅やアパート等の賃借契約を締結した方

Case3 / 実家などに住む場合

最大40万円

2020年10月1日以降に県外から日立市内の実家などに戻る方

条件

対象者: 県外からの移住者(39歳以下)で、いずれかの条件に該当する方

① 県外企業などへの勤務を継続しながら、テレワークを実施する方(テレワーク勤務証明書を提出)

② 県外企業などから受注し、リモートワークで仕事を継続するフリーランスの方(税務署への開業届(写し)、もしくは確定申告書(写し)を提出)

移住支援金

Case1 / 世帯(2人以上の家族)で移住した場合

100万円

Case2 / 単身(1人)で移住した場合

60万円

移住元の要件:

東京23区内に在住又は、東京圏(※1)のうち条件不利地域(※2)以外に住んでいて東京23区内に通勤されていた方

対象者: 以下のいずれかの条件に該当する方

① テレワークを行っている方(転勤を除く)

② 転入時に39歳以下の方で、日立市に10年以上居住歴がある方や市内大学卒業生など

※1 東京圏: 東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県

※2 東京圏のうち条件不利地域:

【東京都】 檜原村、奥多摩町、大島町、利島村、新島村、神津島村、三宅村、御蔵島村、八丈町、青ヶ島村、小笠原村

【神奈川県】 山北町、真鶴町、清川村

【千葉県】 館山市、旭市、勝浦市、鴨川市、富津市、いすみ市、南房総市、東庄町、長南町、大多喜町、御宿町、鋸南町

【埼玉県】 秩父市、飯能市、本庄市、ときがわ町、横瀬町、皆野町、小鹿野町、東秩父村、神川町



移住支援金対象者の詳細はこちらから。

新しい日常の移住・定住を

＼ 日立市に移住してテレワーク、リアルに考えてみました。 ／

東京駅から日立駅までは特急利用で約1時間40分。運賃は片道5000円弱です。高速バスを使えば運賃は片道2500円程度になります。

次に家賃について考えてみましょう。東京都世田谷区の相場と比較した場合、1DKでは3万円程度、ファミリー向けの3LDKともなると**10万円以上、日立市のほうが安くなります。**日立市の暮らしには海と山、きれいな空気、おいしい海の幸などがついてきます。どちらの暮らしを選ぶかはあなた次第！



東京駅→日立駅

- 特急列車利用の場合 約1時間40分 / 4880円
- 特別快速・普通列車などを利用の場合 約2時間30分 / 2640円
- 高速バスの場合 約2時間30分 / 2500円

家賃相場

(大手不動産会社サイトより)

- ワンルーム～1DK 日立市： **4万5000円** 世田谷区： **7万円**
- 2LDK～3DK 日立市： **6万1000円** 世田谷区： **14万9000円**
- 3LDK/4K～ 日立市： **6万8000円** 世田谷区： **18万3000円**

＼ 定住支援にはこんな制度も！ ／

結婚新生活支援事業

対象：世帯の所得が400万円未満で、婚姻日にそれぞれの年齢が39歳以下の夫婦

結婚を機に、日立市で新生活を始めた夫婦に、30万円を限度に住宅取得・賃貸、引っ越しの費用の補助、さらに、10万円を限度に家具・家電品の購入費などを補助します(少子化対策の一つでもあります)。

ひたち移住コンシェルジュ&移住相談窓口

日立市では移住を検討・希望されている方に希望のスタイルを聞いて、「住まい・仕事・地域の情報」や「移住に関する助成」など、ひたち移住コンシェルジュ（相談員）がさまざまな疑問に答え、サポートします。

■ 移住相談窓口

日立市役所地域創生推進課内（日立市助川町1-1-1）

tel.050-5528-5022 iju@city.hitachi.lg.jp

ひたち子育て応援マイホーム取得助成事業

対象：子育て世帯（義務教育終了前の子どもを養育している世帯）

日立市に「住みたい」「住み続けたい」と考えている子育て世帯を応援するため、市内に住宅取得等を行った方を対象に、住宅の取得費用の一部を助成。中古住宅、マンションの購入も対象になります。



山側住宅団地住み替え促進助成事業

対象：子育て世帯（義務教育終了前の子どもを養育している世帯）または若年夫婦世帯（夫婦のどちらかが40歳未満）

日立市の山側には海が一望できる12の住宅団地があります。その山側住宅団地に広い世代の居住を促すため、山側住宅団地で住宅を取得等・賃借する方を対象に助成を行います。



日立市には、
輝く海と
豊かな自然に
おいしい食、
そして
会いたくなる
人たちがいます！



東京駅から
日立駅まで
約1時間40分！



ひたち
ぐらし
の
ススメ
HITACHI
IBARAKI

発行／日立市

制作／『ソトコト』編集部

2021年6月